

2015年3月13日(金) 13時から大阪で開催



shaping tomorrow with you

富士通ライフサイエンスフォーラム 2015 in OSAKA

謹啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度弊社では、来る2015年3月13日(金)に「富士通ライフサイエンスフォーラム 2015 in OSAKA」を開催することとなりました。

近年、ライフサイエンス分野においてイノベーティブな技術や製品の創出が世界的課題となるなか、国内ではアベノミクスの成長戦略の一つとして医療産業が位置づけられており、産官学連携や革新的新薬創出を目的に、法制度の改正をはじめ様々な政策が実施されております。このような中、医薬品産業の次なる課題としては、産官学等業界の壁や国や地域の隔たり等、これまでの枠組みにとらわれない視点を養っていく必要があると考えます。

今回の「富士通ライフサイエンスフォーラム2015 in OSAKA」では、製薬業界を取り巻く今後の環境変化を見据え、お客様のビジネスを発展・変革させていく為のご検討材料ならびに解決策の一助として頂けるものをご提示できればと考えております。併せて、各企業様間の、交流を兼ねました懇談としてご活用いただければと願っております。

ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ともご来場賜りますよう、ご案内申し上げます。

謹白

■開催概要

開催日	2015年3月13日 金曜日
時間	13時00分～17時30分(12時30分受付開始) 17時40分～18時40分(懇親会)
会場	関西システムラボラトリ (大阪市中心区城見2-2-6) JR大阪環状線「京橋駅」および京阪線「京橋駅」より徒歩6分 地下鉄鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク駅」より徒歩5分
主催	富士通株式会社 産業ビジネス本部 ライフサイエンス統括営業部
定員	70名
参加費	無料

■講演概要

12:30～	受付開始		
13:00～	開会のご挨拶		
13:10～	コンピュータで挑む創薬と医療 京都大学大学院医学研究科 臨床システム腫瘍学 寄附講座 特定教授 奥野 恭史様		
14:25～	医薬品業向けソリューション・サービスのイノベーションに向けて ～Shaping tomorrow as One Fujitsu～ 富士通株式会社		
15:10～	休憩・デモ展示見学 LabSite (GLP)、MasterControl (QMS)、qcLIMS (LIMS)、PRONES製薬テンプレート (ERP)、DDworks21 (GCP業務支援)、DM-21 (症例データマネジメント)、ePRO (電子患者日誌)、X-Management (統合医薬系データベース)、Spotfire (BI) 等のデモをご用意しております。		
15:40～	[Aトラック] (個別化医療) 『個別化医療時代』に対する富士通の取組み	[Bトラック] (薬事法改正) 『薬事法改正と医薬品のリスクマネジメント』	[Cトラック] (デモ展示ご紹介) デモ展示ツアー① (＊)
	[Dトラック] (電子化) 『2016年電子化』動向に向けた備えと富士通のソリューション	[Eトラック] (営業系) 『ビッグデータ技術を活用した営業生産性向上への取組み』	[Fトラック] (デモ展示ご紹介) デモ展示ツアー② (＊)
16:40～			
17:30	閉会		
17:40～	懇親会		

講演内容につきましては、変更になる可能性がございます。

(＊)[Cトラック]、[Fトラック]のデモ展示ツアーでは、当日展示されている製品を順番にご説明させていただきます。お申し込みの際、ご都合の良いトラックをご選択下さい。

■会場ご案内

➤ 関西システムラボラトリ

(大阪市中央区城見2-2-6)

・JR大阪環状線「京橋駅」および京阪線「京橋駅」より徒歩6分

・地下鉄鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク駅」より徒歩5分

※駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



■ご参加のお申し込み

➤ 富士通「ライフサイエンスソリューション」のホームページのイベント・セミナーにお申込用Webをご用意しております。

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/2949>

■お問い合わせ先

➤ 富士通ライフサイエンスフォーラム2015inOSAKA 事務局

〒540-8514 大阪市中央区城見2-2-6 関西システムラボラトリ

富士通株式会社 産業ビジネス本部 ライフサイエンス統括営業部

E-mail: contact-life-forum@cs.jp.fujitsu.com



■講演内容

タイトル	内容
[基調講演] 「コンピュータで挑む創薬と医療」	京都大学大学院医学系研究科 臨床システム腫瘍学 寄附講座 特定教授 奥野恭史先生にご講演頂きます。奥野先生は同学教授の他、理化学研究所生命システム研究センター客員主管研究員も務めていらっしゃいます。創薬インフォマティクス、臨床インフォマティクスがご専門分野です。過去、数々の受賞をされており、平成21年には「創薬を加速化する医薬候補化合物の革新的探索計算技術の振興」で文部科学大臣表彰科学技術賞 科学技術新興部門 受賞をされておられます。これまでにスーパーコンピュータ「京」を用いて創薬研究に取り組んでおられました。また、最近では京大病院がんセンターが集積するがん患者約5千例の実臨床データを解析することで、患者の治療効果、副作用、予後などの予測に基づくデータ主導型個別化医療の研究開発を開始されました。本講演では、創薬と医療応用におけるシミュレーション科学とビッグデータ科学の実例と可能性についてご紹介いただきます。
[講演] 「医薬品業界向けソリューション・サービスのイノベーションに向けて」 ～Shaping tomorrow as One Fujitsu～	医薬品業界向けソリューション・サービスが今後進むべき方向性や、医薬品業界のイノベーションに向けた富士通の取組みをお伝えします。また、昨今注目が集まるCDISCへの富士通の取組や今後の業界に向けた情報発信の計画についてもご紹介いたします。
[Aトラック] 「『個別化医療時代』に対する富士通の取組み」	『個別化医療・先制医療』時代において、製薬企業に求められる育薬活動や医療機器、診療技術等々とのコラボレーション・オープンイノベーションが医薬品の評価・戦略検討にとって重要なファクターになりつつあると考えております。本トラックでは、従来弊社がご提供してきた製薬企業向け各種業務ソリューションとは異なる取組みとして、医療・医薬の分野で個別化医療・先制医療に対してITを通じて貢献するための活動・ソリューション創造への取組みをご紹介します。
[Bトラック] 「薬事法改正と医薬品のリスクマネジメント」	11月「薬事法」が新たに「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」として改正されました。外部講師の先生より、その概要を解説頂くとともに、医薬品のリスク管理計画の必要性についてお話頂きます。 【講師】NPO-QAセンター 理事 人見 英明 様 (過去、製薬会社、PMDAに在籍されておられました)

タイトル	内容
[Cトラック] [Fトラック] * デモ展示ツアー *CトラックとFトラックは 同一の内容です	当日展示されている製品を順番にご説明させていただきます。ご都合のよいトラックをご選択下さい。 LabSite (GLP)、MasterControl (QMS)、qcLIMS (LIMS)、PRONES製薬テンプレート (ERP)、DDworks21 (GCP業務支援)、DM-21 (症例データマネジメント)、ePRO (電子患者日誌)、X-Management (統合医薬系データベース)、Spotfire (BI) 等のデモをご用意しております。
[Dトラック] 「『2016年電子化』動向 に向けた備えと富士通の ソリューション」	2016年からの当局の電子データ受付開始を契機として、医薬品開発に関わる情報の『電子化』が加速しています。『電子化』時代を迎えるにあたり、どのように準備すればよいかについて、CDISC、eTMF、安全性情報などの電子化に関する動向や海外規制や、当局査察を意識した効率的な情報の管理の対応方法についてご紹介するとともに、富士通の取り組みとソリューションをご説明します。
[Eトラック] 「ビッグデータ技術を活用 した営業生産性向上への 取り組み」	当社でこれまで培ってきたビッグデータ技術を取り入れ、実消化データや活動データ、CLMデータ、Webログ、オペレーションログ等のデータを、従来のマーケティングデータに組み合わせた営業生産性を高めるソリューションの実践・実験を進めております。 最適なプロモーション活動を実現する為に重要な「Dr.プロファイリング」や「日報テキストデータのプロモーション活用」などの具体的な事例をご紹介します。

■ 展示ソリューション内容

ソリューション名	分野	概要
LabSite	非臨床安全性試験	製薬業、CRO様向け非臨床安全性試験パッケージを昨年9月プレスリリース致しました。 これまでの実績に加え、大手企業様によるご協力を得て、現場のノウハウ、資産をフル活用した新しいGLPシステムをご紹介します。
MasterControl	品質マネジメント	文書管理、プロセス管理、トレーニング管理、監査管理等から構成されるトータル品質マネジメントシステムです。査察を行う米国食品医薬局FDAや製薬業様／医療機器メーカー様に導入されています。
qcLIMS	品質管理	昨年10月販売開始しました医薬品製造における品質管理業務を総合的に支援するLIMS(品質管理)パッケージソフトウェアです。従来製品をリニューアルし、近年の法規制(PIC/S GMP等)対応をはじめ機能強化を実施しました。 品質保証レベルの向上と業務作業効率の向上をはかります。
PRONES 製薬テンプレート	生産管理	豊富な実績をもつPRONESシリーズの製薬業界向けテンプレートを提供しています。生産管理パッケージとしてのニーズに応えつつ、GMP・Part 11への法規制対応を行っています。お客様のGMPポリシーに準拠したシステム構築をサポートします。
DDworks21 Global	GCP業務支援	Monitoring Report、Issue管理、TMF管理を軸とした国際共同治験を効率かつ高品質に管理するためのCTMS(Clinical Trial Management System)です。
DDworks21 Suite	GCP業務支援	GCP業務支援システムのデファクトスタンダードであるDDworks21のシリーズ製品を統合した「DDworks21 Suite」をリリースいたしました。GCP業務管理機能をはじめ、EDC機能、副作用情報通知機能等、お客様の治験業務をトータルにサポートする機能を搭載しております。
DM-21	症例データマネジメント	ER/ESガイドラインに対応した症例データマネジメントシステム(DM-21)にSDTM変換機能を付加した新バージョンを2014年度4Qにリリースします。当日は、SDTM変換機能を中心にご紹介させていただきます。

■ 展示ソリューション内容

ソリューション名	分野	概要
ePRO	電子患者日誌	電子患者日記に関する導入準備からシステム運用まで、全体を網羅するトータルソリューションをご提供します。
X-Management	統合医薬品情報DB	種類の異なる複数のデータ(各種業務システムのデータ等)を処理、統合して、個別のデータからでは得られない、複合的な知見を得るソリューションです。当日は、安全性情報を元にしたSignal検出のデモンストレーションや、当社のCDISC準拠臨床試験メタデータ管理ソリューション(tsClinical Semantics※仮称)と業務システムの連携イメージ等を中心にご紹介させていただきます。
Spotfire	BI	Spotfireは、リアルタイムかつ対話型で解析できるBI (Business Intelligence) システムです。それにより、ビッグデータに潜む未知のトレンド、パターンおよび予想もしなかった知見を探索し、ビジネスチャンスやリスクを見つけ出します。